

4月10日9時30分より石田会長、田嶋さんと小迫夫婦の4人で第2小学校へ行く。3年生の3クラスを夫々玉川上水の桜並木に案内するためだ。第2小学校は一昨年、名勝小金井桜の紹介と桜並木案内で訪れ、実生の苗木を寄贈したが、その苗木が校舎の前庭に4本、大きく育っていた。とても嬉しい。

元気いっぱいの子供たちは石田会長を先頭に上水に向かった。子供たちは会長より小金井橋の上で玉川上水の説明を受け、名勝小金井桜の碑と説明版の前でも話を聞き、そこに書かれた小金井桜樹碑のところから行きますと聞いて歓声をあげた。海岸寺の前でも熱心に話を聞き、質問をしたり関心の高さに驚いた。桜並木を歩いた後の質問も活発だった。ヤマザクラの並木がなぜ名勝なのか、桜の木はなぜ道路方向に曲がっているのか、交通事故はないのか、柵になぜ桜の花びらがついているのか、鯉はいつから上水にいるのか・・・(笑)・・・別れるとき名残惜しそうにハイタッチや握手をし、踊り場の窓越しに「ありがとうございましたあ～」と手を振って見送ってくれた。昼過ぎまで3回の上水案内は足腰にこたえたが、子供たちの暖かさに気温の寒さを忘れた。若い苗木が大きく育って素晴らしい並木になる頃には私たちはいませんから、皆さんが後を継いで下さいとの会長の話に「はい、頑張ります」と言ってくれた子どもの笑顔がまだ目の中で輝いている。



4月12日、左岸のカスミザクラが2本開花した。これで小金井橋～茜屋橋間の桜樹が全て開花した。全てとはいっても、H26年度植樹の若木は14本中11本開花したがKS11・KS14・KS16の3本は開花の兆しがない。今年は見送りではないだろうかと思われる。



No.270(カスミザクラ)開花

No.261(カスミザクラ)開花

No.269(カスミザクラ)開花4日目

緑道の花



